

江戸川区立小岩第二中学校 第2学年 学年だより		<h1>かがやき</h1>
第11号	令和8年6月15日	

作文「運動会を終えて」

運動会の振り返りとして作文を書きました。今号は3、4、5組について、掲載させていただきます。

「運動会」

2年3組 T.C.

中学校に入って2回目の運動会でした。私は初めて中距離に挑戦しました。授業で一回きりの練習で走った後、体力もボロボロで順位も最下位でとても焦りました。諦めかけていたけど、順位を1つ上げることが目標にしました。本番前日まで、放課後に300メートルを何回も走りました。雨が降っていた運動会前日もタイムを計り走ってみたら、最初の日から10秒も縮めることができました。本番の日は、呼吸の仕方などを思い出して走ったけれど、順位は変わらず最下位でした。しかし、体力はついたし自信にもつながり2週間の自主練を続けてよかったと思いました。

全員リレーは何回かバトンを落としてしまったけれど、称え合い最後までバトンをつなげることができました。このリレーが一番みんなの心が1つになって走っている人を応援できたと思いました。ローハイドでは、上の人も下の人も人生で初めてやるような行動がたくさんあって、最初は不安でした。3組は誰一人怪我することなく、みんなで1つになって3位になったことをうれしく思いました。

2年生が始まって1か月で一致団結して、できるか心配だったけど、運動会を通して3組でできて良かったと思いました。合唱コンクールでは、もっと仲を深めて金賞を取りたいです。3組の皆で楽しい思い出をたくさん作りたいです。来年の運動会は、このメンバーではないけれど全力を尽くして最後の良い運動会にしたいです。

変化しているとき。それは成長しているとき。

「運動会」

2年4組 Y.K.

僕は、副実行委員として朝早くから学校に来て、ラインを引いたり、水をまいたり、運動会が成功するように準備を誰よりも頑張っていました。当日はたくさん仕事があり、キツイという声もありました。

この運動会で目標を立てました。それは、「仲間を大切にしてお互いに優勝する」でした。優勝はできなかったものの、仲間を大切にすることはできていたと思っています。「仲間を大切にする。」という言葉にして言うのは簡単ですが、実際には難しいことだと思います。本気で取り組んでいるからこそ、厳しい発言もあるからです。「仲間を信頼する。」という心が仲間を大切にする上で、重要だと僕は思っています。本番当日では、優勝はできなかったが、学年種目のローハイドでは1位をとり、少しうれしい気持ちがあります。一人ひとりが誰よりも練習をして自信をもって勝ち取ったからです。

副実行委員長なので、閉会の言葉を言いました。本番当日は言葉にできない心情で複雑な気持ちでした。しかし、閉会の言葉を言い終わった後は、心がすっきりして、見渡すと生徒や先生、保護者も笑顔だったのでうれしかったです。悔いのない運動会にできたと思いました。

「2回目の運動会」

2年5組 M.N.

先輩として初めての運動会。去年の運動会の経験を生かして、練習から本番で取り組んだ。クラス替えして、あまり話したことがない人もいるけど、39人全員1つになって本番を迎えられるよう1つの目標をつくり、それに向かって練習を始めた。最初から皆しっかり練習していて、「同じ熱量でできるかな。」と何度も考えていた。どうしてもうまくいかないことがあって、正直優勝できるとは思っていなかった。運動会が近づくごとに、みんなのやる気と熱量が強化され、1回でも多くやったり、スピードが上がったり練習のレベルが上がった。自分の気持ちに自信が付いてきて、みんなと一緒に優勝を目指した。

クラス替えして慣れない人が多い中、2年5組は1つになれた。1人ひとりがやさしく、みんなが本気でやろうと思えたから、毎回の練習が楽しく待ち遠しかった。全員リレーでは、バトンを宝のように大切にし、みんなでつなぐことができた。学年種目のローハイドでは、自分のためではなく、一緒に戦ってくれた人たちの負担や思いを受け取ることができた。

選抜リレーでは、クラスの代表として、クラスに貢献できるようリレーの仲間たちとたくさんコミュニケーションをとった。3年生になったら、今回よりも努力して何位なっても「楽しかった。」で終わりたい。